

2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績（2020年6月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	24,875	△12.4	529	29.2	294	65.5	149	97.8
2020年5月期第3四半期	28,399	16.6	409	△45.2	177	△65.8	75	△75.3

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 166百万円 (42.0%) 2020年5月期第3四半期 117百万円 (△66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	102.75	—
2020年5月期第3四半期	51.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	26,754	6,529	22.8	4,180.55
2020年5月期	27,434	6,392	21.8	4,097.80

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 6,095百万円 2020年5月期 5,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年5月期	—	0.00	—		
2021年5月期（予想）				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年4月13日）公表いたしました「2021年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.3	960	53.0	650	106.9	370	209.5	253.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年4月13日）公表いたしました「2021年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期3Q	1,480,000株	2020年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	21,832株	2020年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期3Q	1,458,187株	2020年5月期3Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2021年2月28日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

愛知県の地価公示結果における土地価格の平均変動率は、地価調査と同様に住宅地は9年ぶりの下落(△1.0%)、商業地は8年ぶりの下落(△1.7%)となりました。一方でリニア中央新幹線の開業による経済影響の期待感は強く、名古屋駅及び栄駅周辺の開発が進んでおります。

新型コロナウイルス感染症についてワクチン接種が開始されましたが、短期的には経済活動が大きく制限されており、経済環境は依然として厳しい状況にあります。そのような状況下、分譲住宅の新設住宅着工戸数は減少しているものの、住宅市場在庫は高い水準にあり、激しい競争は継続するものと考えております。

② 当社の取り組み

- ・商品開発は、当社の岐阜工場を中心とする工業化インフラを活用した独自建材を中心とした開発に注力し、住宅の個と街並みを意識したデザイン性の向上に取り組みました。他社と差別化された商品を提供いただくことにより、利益率の改善に繋がっているものと考えております。
- ・当社及び当社の住宅商品を広く認知いただくために、物件見学や工場見学をオンデマンド配信で行う等、WEBメディアを利用した情報発信を強化するとともに、新しい生活様式への対応としてオンライン商談を促進する等、ネット上でのお客様との接点を増やしてまいりました。
- ・商品住宅として工業化を推進することにより事業工期の短縮を図り、岐阜工場を物流拠点とした配送コストの削減を行う等、コストダウンを進めました。
- ・岐阜県大垣市に工場土地建屋を取得いたしました。岐阜第3工場として資材供給体制の強化を図るとともに、外部への販売を見据え、地域産材を活用した商品開発等、事業拡大に寄与させてまいります。
- ・不動産特定共同事業のクラウドファンディングサイト「信長ファンディング」を開設し、1号商品の運用を2021年1月より開始し、2021年3月運用開始となる2号商品の募集を行いました。
- ・「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」にナイター照明設備を一部設置いたしました。夕暮れ時でもより多くの方に楽しんでいただける環境を整え、顧客満足の上向上に一層努めてまいります。

③ 当第3四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	24,875百万円	529百万円	294百万円	149百万円
前年同期比	12.4%減	29.2%増	65.5%増	97.8%増

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第3四半期実績	636戸	636戸	—
前年同期実績	715戸	699戸	1棟16戸
前期実績(通期)	961戸	945戸	1棟16戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	23,306百万円	767百万円	販売戸数が減少したことにより売上高が減少したものの、商品改善に取り組んだことにより、戸建分譲住宅の利益率が上昇し、利益が増加。
前年同期比	6.2%減	10.5%増	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,463百万円	292百万円	緊急事態宣言を受け、「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」を臨時休業したことにより売上高が減少したものの、ナイター設備の設置等により、来場者数が増加し利益が増加。
前年同期比	14.7%減	13.6%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第3四半期実績	269百万円	△13百万円	収益型不動産の販売がなかったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大により休業した商業施設等の設備管理収入が減少したことで、売上高が減少。
前年同期比	72.0%減	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	16百万円	5百万円	宅地販売が減少し、売上高が減少。
前年同期比	98.3%減	77.2%減	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として前連結会計年度末と比較して679百万円減少し、26,754百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の減少を主な要因として前連結会計年度末と比較して816百万円減少し、20,225百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して137百万円増加し、6,529百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月15日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2021年4月13日)公表いたしました「2021年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,169,359	3,663,604
完成工事未収入金	44,367	72,203
売掛金	279,798	333,404
販売用不動産	9,644,488	8,328,613
仕掛販売用不動産	7,189,997	6,378,521
商品及び製品	305,904	396,181
未成工事支出金	1,415,168	1,929,267
仕掛品	153,194	178,797
原材料	116,189	247,980
その他	445,632	523,219
流動資産合計	22,764,099	22,051,793
固定資産		
有形固定資産	3,951,408	3,989,335
無形固定資産	125,971	115,222
投資その他の資産	592,831	598,231
固定資産合計	4,670,211	4,702,789
資産合計	27,434,310	26,754,583
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,534,628	1,707,815
買掛金	283,903	602,804
1年内償還予定の社債	214,000	276,000
短期借入金	11,927,222	9,895,349
1年内返済予定の長期借入金	1,702,612	1,791,894
未払法人税等	73,144	57,856
賞与引当金	112,712	61,589
完成工事補償引当金	121,329	114,144
その他	640,035	807,129
流動負債合計	16,609,588	15,314,583
固定負債		
社債	404,000	889,000
長期借入金	2,717,051	2,713,391
退職給付に係る負債	2,691	3,751
役員退職慰労引当金	164,601	157,995
資産除去債務	30,588	30,744
その他	1,113,624	1,115,714
固定負債合計	4,432,556	4,910,596
負債合計	21,042,145	20,225,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,453,845	5,574,510
自己株式	△41,762	△41,871
株主資本合計	5,976,165	6,096,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△772
その他の包括利益累計額合計	△669	△772
非支配株主持分	416,670	433,456
純資産合計	6,392,165	6,529,403
負債純資産合計	27,434,310	26,754,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
売上高	28,399,940	24,875,106
売上原価	25,280,997	21,727,633
売上総利益	3,118,943	3,147,472
販売費及び一般管理費	2,709,256	2,618,313
営業利益	409,687	529,158
営業外収益		
受取利息	1,474	1,171
受取手数料	14,039	11,855
補助金収入	6,657	—
助成金収入	—	8,203
その他	22,152	15,285
営業外収益合計	44,324	36,515
営業外費用		
支払利息	247,091	224,008
資金調達費用	14,812	20,609
その他	14,279	26,690
営業外費用合計	276,183	271,308
経常利益	177,827	294,366
特別利益		
固定資産売却益	—	299
助成金収入	—	42,648
特別利益合計	—	42,948
特別損失		
固定資産除却損	536	19,695
臨時休業による損失	—	72,790
特別損失合計	536	92,485
税金等調整前四半期純利益	177,291	244,828
法人税等	59,676	78,213
四半期純利益	117,614	166,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,866	16,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,748	149,829

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	117,614	166,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△358	△102
その他の包括利益合計	△358	△102
四半期包括利益	117,256	166,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,390	149,726
非支配株主に係る四半期包括利益	41,866	16,785

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響については、収束までの見通しが予測困難な状況が続いており、当社でも「HOTEL WOOD 高山」において宿泊客数減少等の影響を及ぼしております。

しかし、ワクチン開発が進み日本国内でもワクチン接種が始まっていることから、翌連結会計年度には当該感染症は徐々に収束に向かい、宿泊客数は回復するものと仮定しております。また、住宅事業においても影響は軽微であると判断した上で、たな卸資産の評価や固定資産の減損に関わる会計上の見積もりを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	24,848,401	1,713,379	913,243	924,916	28,399,940	—	28,399,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,280	48,674	5,944	55,899	△55,899	—
計	24,848,401	1,714,659	961,917	930,861	28,455,840	△55,899	28,399,940
セグメント利益又は損失 (△)	694,926	257,868	△35,172	25,950	943,572	△533,885	409,687

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△533,885千円には、セグメント間取引消去19,750千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,635千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	23,163,066	1,462,701	233,195	16,143	24,875,106	—	24,875,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	143,677	635	36,476	—	180,789	△180,789	—
計	23,306,743	1,463,337	269,672	16,143	25,055,895	△180,789	24,875,106
セグメント利益又は損失 (△)	767,727	292,850	△13,491	5,907	1,052,993	△523,834	529,158

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△523,834千円には、セグメント間取引消去11,704千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△535,539千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。